

ほっけん

243 ショートステイ



薩摩郷句 兼題『催促』
てげ化粧れち 庭かい催促つ クラクシヨシ
(唱) まだかまだかち ブーブ鳴らけつ
北村 虎王
早よ食せち 催促つ爺さんの 腹時計
(唱) 時計どまいらん 「腹減った!」
西ノ園ひらり
一円の 返済ゆ催促つ 固て男
(唱) 大事な一円 早よ戻せ言つ
二見愚楽満
催促かれつ こいも孝行ち やつと結婚式
(唱) 心配を焼たどん ほつとした両親
諸木 小春
貸せた人が 催促つ何度も 頭下げ
(唱) 戻つくれよち 拜ん倒えちよつ
上窪 小絵

大崎短歌会 兼題『手紙』
ぎらぎらの 熱き日射しを 向日葵は
ひるます受けて 命輝く
中崎ハナエ
怠惰をば 絵に描いたやうな 一週間
一日一粒の 鎮痛剤で
原田 葉子
結婚は 二人で作り 育つもの
父の言葉が 八十にして
高瀬 睦子
小石原焼の 抹茶わん 手にとりつ
九州豪雨の ニュースに見入る
上南 紀子
炎天を 何のそのとし 夏の蝶
引きずる思い ひらりひらりと
馬場みさ子

大崎俳句会
火の島の 噴煙梅雨に なためられ
宮脇 洋子
文の日の 御札の言葉 「感謝」とす
桑原 正樹
招き猫 暖簾の端に 手をかけて
坂元つる子
青田風 この地に生きて 幸せを
三浦 倫子
両手つき 雨の口上 雨蛙
宮下 のし
音もせず 降るとも見えず 春の雨
春田 昌子
コップ酒の人 亡き夫に似る 夜店かな
内村美恵子

今月の表紙



『ビーチスポーツの祭典』

第13回目となる『くにの松原ビーチスポーツフェスタ』が開催され、ビーチバレー・ビーチフットサルの2種目が行われました。
真夏の暑さにも負けず、参加者らは熱い試合を繰り広げていました。また、名物のうなぎの蒲焼きの振る舞いには行列ができ、焼き上がりを今か今かととても楽しみにしているようでした。(平成29年8月20日撮影)

人権啓発シリーズ

同和問題

～正しく理解し、差別や偏見を無くしましょう～

●同和問題ってどんなこと?

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形成された身分階層構造に基づく差別により、国民の一部の人々が経済的・社会的・文化的に低位の状態におかれ、その状態が今日の社会まで因習的に残されており、わが国の憲法に保障されている基本的人権尊重の考え方に照らしても、早急に解決しなければならない、最も深刻にして重大な社会問題です。

生まれてきた場所 暮らす町 み～んな同じ空の下

出身地や暮らす場所が理由で、結婚や就職のときに、差別を受ける同和問題
生まれてくる場所を、選ぶことは出来ないけれど、み～んな同じ空の下
同じ地球に生まれ、同じ心を持つてるよ
“どこの人?” なんかじゃなくて “わたし” 個人を見て欲しい
ひとりひとりが、かけがえのない人間だから